



建 第 66 号  
平成 19 年 5 月 2 日

国土交通省道路局長 殿

河津町長 櫻井 恭次



中期的な計画の作成にあたっての意見について (提出)

貴職におかれましては、日頃から道路行政にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、表題の件につきまして、下記のとおり回答しますので、よろしくお取り計らい願います。

#### 記

#### 1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策。

- 伊豆半島の魅力ある地域づくりの構築には高速道路のネットワーク化が最重要。
- 災害発生時の緊急輸送路・救急医療施設への道路網の早期整備。
- 自然資源を維持する為の環境アセスを考慮した道路整備。
- 地域自立のため、地域の情報等を発信できる空間及び施設の整備。(例：道の駅等)

#### 2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと。

- 建設コストの更なる縮減化。
- 地域との更なる連携により効率化を図る。

#### 3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見。

- 伊豆縦貫自動車道建設に伴うアクセス道路の建設促進について。  
伊豆縦貫自動車道『河津下田道路(1期)』の早期完成、並びに国道414号河津町(逆川地区)地内の狭隘箇所を拡幅改良し早期完了するよう要望します。
- 国道135号線の災害に強い道づくりの促進。  
ここ数年、豪雨災害の為、路肩決壊等により通行止めを余儀なくされ支障をきたしています、災害防除事業の促進を要望します。
- 河津町(大鍋地区)と松崎町を結ぶ(仮称：地域を結ぶ30分道路)道路建設の早期着工を要望します。